

平成25年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価の報告書

(対象：平成24年度実施事務及び事業等)

平成26年3月

亶理町教育委員会

目 次

I 【 概 要 】

1. 教育委員会について	1
亶理町教育委員会委員名簿	
2. 本報告書について	2
3. 対象とする事務及び事業等と点検・評価の方法について	
意見等をいただいた学識経験者名簿	
4. 亶理町教育基本方針	3
5. 平成24年度亶理町教育重点施策	3～4
6. 亶理町教育委員会の組織機構図	5

II 【 教育委員の活動状況等 】

7. 教育委員会の会議の開催状況	6～10
8. 会議以外の活動状況	10

III 【 参考資料 】

9. 平成24年度 教育費内訳（決算額）	11
10. 学校の状況	12

IV 【 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート 】

（1）学校教育の充実

① 外国語指導助手配置事業	14
② 小中学校情報教育事業	15
③ 小中学校教育振興事業（特色ある学校づくり）	16～17
④ 学校保健推進事業	17～18
⑤ 特別支援教育推進事業	19～20
⑥ 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業，特別支援教育就学奨励事業	21～22
⑦ 学校教育施設管理整備事業	22～23
⑧ 公立学校施設災害復旧事業	24～25
⑨ 奨学金貸付事業	25～26
⑩ 学校給食センター事業	27～28
⑪ 私立幼稚園就園奨励事業	29～30

(2) 生涯学習の充実と振興

⑫ 生涯学習推進体制の整備充実	32
⑬ 生涯学習に関する情報管理・提供体制の充実	33
⑭ 生涯学習機会の拡充と学習活動の促進支援の強化	34
⑮ 多様な学習機会及び交流機会の充実	35～36
⑯ 図書館活動	36～38
⑰ 生涯学習拠点施設の整備充実	38～39

(3) 文化の創造と活用

⑱ 活動拠点施設の整備と全町的な芸術文化活動の推進	42
⑲ 芸術文化団体の育成と指導者の確保	43
⑳ 文化財保護事業	43～45
㉑ 文化財めぐり事業	45～46
㉒ 郷土資料館事業（資料収集・保存）	47～48
㉓ 郷土資料館事業（展示関係）	48～49
㉔ 郷土資料館事業（教育普及活動）	49～51
㉕ 町史編纂事業	51～53

(4) 社会体育とスポーツの振興

⑳ 公民館事業（社会体育） {亘理中央・逢隈・荒浜・吉田地区公民館}	56
㉑ 佐藤記念体育館事業（社会体育）	57
㉒ 吉田体育館事業（社会体育）	58
㉓ 海洋センター事業（社会体育）	59
㉔ スポーツ顕彰式	60
㉕ 海洋センター管理事業	61
㉖ 荒浜体育館管理事業	62
㉗ 屋外体育施設整備事業（公認マラソンコース整備事業）	63
㉘ 社会体育事業（わたり復興マラソン大会）	64

I 【 概 要 】

1. 教育委員会について

教育委員会は、首長から独立した立場ですべての都道府県及び市町村等に設置され

① 学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱及び教育職員の身分取扱に関する事務を行う。

② 社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理、執行する。

とされており、委員の合議によって事務局を指揮監督し職務を遂行する行政機関です。

委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するものうちから、町長が、町議会の同意を得て任命します。その定数は、標準では5人とされており、亘理町教育委員会でも委員は5名で構成されています。（下段参照）

その任期は、4年で再任が認められています。

そのうち、委員長は任期は1年で、委員の中から選挙され、教育委員会の会議を主宰し、委員会を代表します。

教育長は、教育委員の中から教育委員会が任命し、教育委員会の指揮監督の下に教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどります。

また、これらの事務を処理するために、事務局が置かれています。

亘理町教育委員会の、具体的な機構図は、5ページに示します。

.....

亘理町教育委員会委員名簿

(平成26年3月1現在)

委員長	佐藤正行
委員長職務代行者	森恵子
委員	佐藤徳美
委員	玉田俊一
委員(教育長)	岩城敏夫

2. 本報告書について

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に定めるところにより、亘理町教育委員会の権限に属する教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、本報告書に取りまとめて作成し、これを亘理町議会に提出するとともに、公表するものです。

3. 対象とする事務及び事業等と点検・評価の方法について

対象とする事務及び事業等については、平成24年度に実施した事務及び事業等のうち、点検・評価を行うにあたり亘理町教育重点施策等（3～4ページ参照）から特に重要と思われるものについて選定し、その概要と実施状況等について取りまとめたうえで、まず、事務局の担当者による点検・評価を行い、次に、教育委員及び教育についての造詣が深い学識経験者2名をまじえた会議を行う中で、それぞれの内容等についてディスカッション形式で十分に理解を深めて点検・評価をおこない、「重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート」に意見等を取りまとめました。

.....

意見等をいただいた学識経験者

只 野 嘉 邦 氏 (亘理町下茨田在住)

武 藤 育 子 氏 (亘理町吉田在住)

4. 亘理町教育基本方針

震災復興計画をふまえ、学校を拠点とした災害に強い地域づくりの理念に基づき、心豊かでたくましい人づくり・活力あるふるさとづくりをめざし、

- ◇ 「生きる力」の育成をめざす学校教育
- ◇ 生きがいをもち、支え合う地域社会
- ◇ 地域の伝統や文化の活用と創造
- ◇ 魅力あるスポーツの振興

を中心に、学校・家庭・地域社会が一体となって、町民の生涯にわたる学習の充実に努める。

5. 平成24年度 亘理町教育重点施策

震災復旧計画の基本理念をふまえ、学校教育と社会教育が連携して、町民一人一人が自己実現をめざし、健康で生きがいに満ちた生涯学習社会を実現するために、次の施策を行う。

(1) 学校教育の充実

確かな学力・豊かな心・たくましい体の調和のとれた「生きる力」の育成に努める。

ア 創意ある教育課程の編成

- ① 基礎・基本の確実な習得と定着及び活用力の育成
- ② 学習習慣の確立と主体的学習による学力向上の推進及び体験学習の充実
- ③ 規範意識を大切にされた心の教育及び「志教育」の推進
- ④ 体力・運動能力の向上及び健康増進と安全教育の推進
- ⑤ 災害体験の伝承と防災教育の推進

イ 創意に満ちた学校経営

- ① 地域に即した特色ある学校経営の推進
- ② 家庭、地域社会に開かれた学校づくりの推進
- ③ 教職員の研修の充実と学校評価を通じた創造的な学校経営の展開

ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制

- ① 児童生徒への「心のケア」の継続的支援の推進
- ② 教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- ③ 学習環境の整備充実と適切な管理
- ④ 仮設住宅に居住する児童生徒への学習環境の支援
- ⑤ 児童生徒の安全指導の徹底と食育の推進
- ⑥ 児童生徒の健全育成に関する関係機関との連携

(2) 生涯学習の充実と振興

潤いのある生活の実現をめざし、生涯にわたる学習の支援に努める。

- ① 生涯学習推進体制の整備充実
- ② 生涯学習に関する情報管理・提供体制の充実
- ③ 生涯学習機会の拡充と学習活動の促進支援の強化
- ④ 多様な学習機会及び交流機会の充実
- ⑤ 図書館活動の充実
- ⑥ 生涯学習拠点施設の整備充実

(3) 文化の創造と活用

かおり高い芸術文化の創造と文化財の保護及び活用に努める。

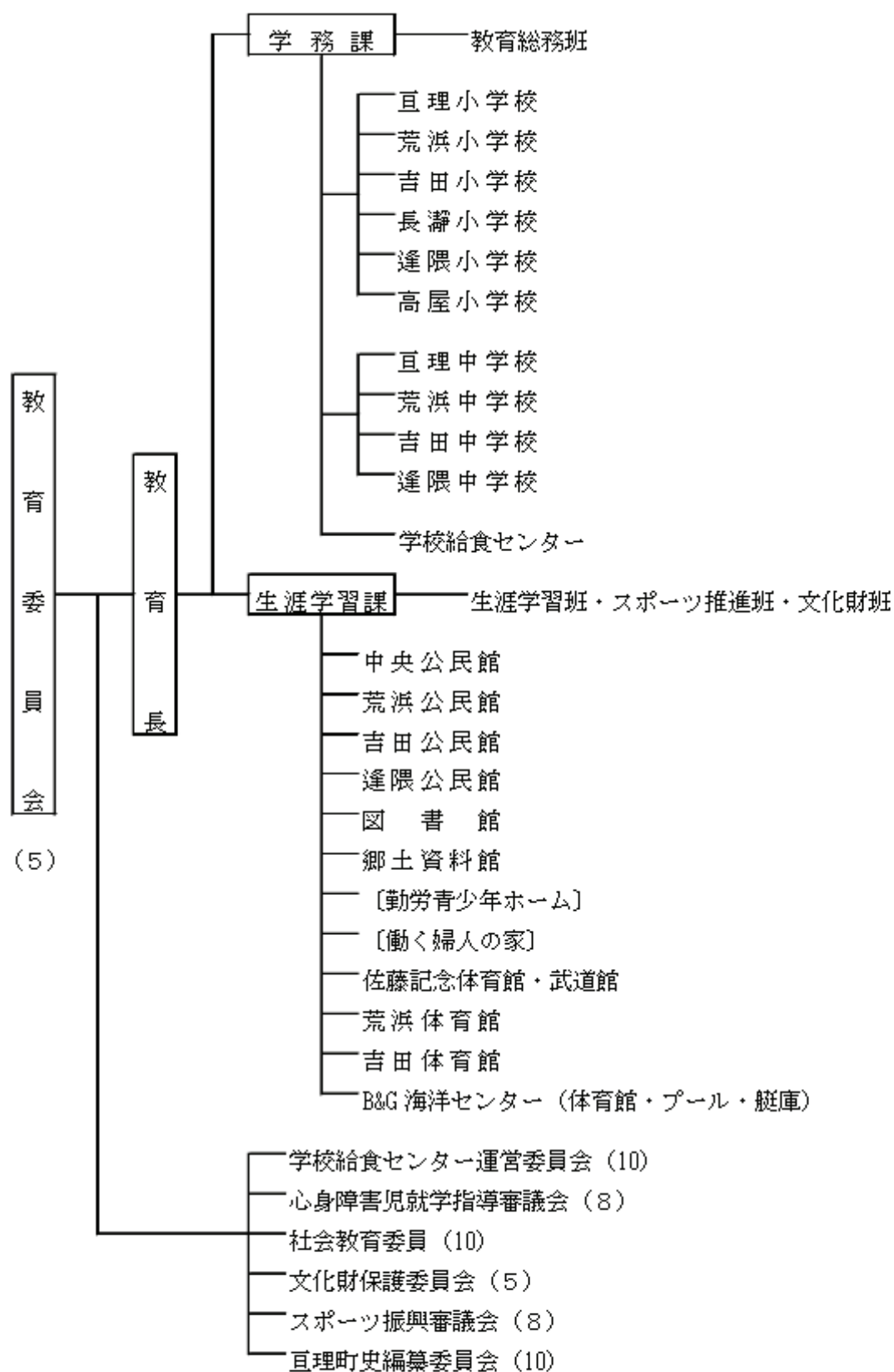
- ① 活動拠点施設の整備と全町的な芸術文化活動の推進
- ② 芸術文化団体の育成と指導者の確保
- ③ 文化財・文化遺産の保護・保存と活用の推進
- ④ 郷土の歴史と生活文化に親しむ活動の推進
- ⑤ 町史編さん事業の推進

(4) 社会体育とスポーツの振興

健全な心身の練磨と連帯意識の高揚をめざし、生涯スポーツの振興に務める。

- ① 町民総参加による生涯スポーツの振興
- ② 生涯スポーツ関係団体・指導者の育成と競技力の向上
- ③ スポーツ施設・設備等の充実と効率的活用の推進
- ④ スポーツイベント・交流事業の推進

6. 亘理町教育委員会の組織機構図 (平成24年度)



・注) () は委員数

[] は町長からの事務委託施設

II 【教育委員の活動状況等】

7. 教育委員会の会議の開催状況

平成24年度に開催された互理町教育委員会の会議は次のとおりです。
定例会は毎月1回行ない、必要に応じて臨時会を開催しました。

期 日	区 分	議 事 等
4月17日(火)	第1回臨時会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 H23年度一般会計補正予算(第11号)に対する意見について ・議案第2号 H24年度一般会計補正予算(第1号)に対する意見について ・報告第1号 互理町立学校医委嘱の一部変更について ・教育長報告 なし ・武道必修化、全国学力・学習状況調査、被災校児童・生徒の動態等について質疑応答 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
4月25日(水)	第2回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長報告 校長・教頭合同会議で指示伝達した内容及び教育長会議の内容について ・教育長報告に対する質疑応答(学校の防災マニュアル関連) ・学校の修学旅行の動向、放射線量等について質疑応答 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
5月24日(木)	第3回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・報告第1号 教育委員会事務局の職員及び教育機関の職員(県費負担教職員を除く)の任免について ・教育長報告 校長会で指示伝達した内容について ・教育長報告に対する質疑応答(携帯電話の使い方関連) ・小学校行事に参加しての意見交換、被災校の現状についての質疑応答、教職員の健康管理について ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
6月11日(月)	第4回臨時会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 H24年度一般会計補正予算(第2号)に対する意見について ・教育長報告 なし

	協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・防災関係（避難所・防災訓練等）についての質疑応答 ・学校訪問を終えての意見交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
6月27日(水)	第5回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長報告 校長会で指示伝達した内容について ・教育長報告に対する質疑応答（B&Gプール利用関係） ・放射能関連、被災学校の再校関係について質疑応答 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
7月18日(水)	第6回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 H24年度一般会計補正予算(第3号)に対する意見について ・議案第2号 学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・議案第3号 心身障害児就学指導審議会委員の委嘱について ・教育長報告 校長会で指示伝達した内容について ・教育長報告に対する質疑応答（児童生徒の事故防止関係） ・東北六縣市町村教育委員会 教育委員・教育長研修会参加に係る復命 ・被災学校関係の情報交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
8月6日(月)	第7回臨時会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 工事請負契約の締結について ・議案第2号 H24年度一般会計補正予算(第4号)に対する意見について ・報告第1号 亘理町スポーツ推進審議会委員の委嘱について ・報告第2号 亘理町社会教育委員の委嘱について ・教育長報告 なし ・被災学校の保護者説明会に関する情報提供 ・いじめ、不登校関係の情報交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
8月31日(金)	第8回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 H24年度一般会計補正予算(第5号)に対する意見について ・教育長報告 9月校長会で指示伝達する内容について ・教育長報告に対する質疑応答（生徒指導関係） ・学校の暑さ対策について情報交換 ・放射線量測定について ・被災校に関する情報交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡

9月27日(木)	第9回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 教育長の任命について ・議案第2号 H24年度教育功績者表彰について ・教育長報告 10月校長会で指示伝達する内容について ・教育長報告に対する質疑応答（教職員異動方針関係） <ul style="list-style-type: none"> ・委員長辞職に伴う次期委員長の選任、職務代行者議席順等選出(指名推薦方式) ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
10月24日(水)	第10回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長報告 11月校長会で指示伝達する内容について ・教育長報告に対する質疑応答(不審者情報関係、インフルエンザ等による出席停止の扱い関係) <ul style="list-style-type: none"> ・荒浜地区に関する情報交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
11月2日(金)	第11回臨時会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 H24年度一般会計補正予算(第6号)に対する意見について ・教育長報告 なし <ul style="list-style-type: none"> ・学力関係・不登校関係についての情報交換 ・震災復興の進捗状況について ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
11月28日(水)	第12回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長報告 12月校長会で指示伝達する内容について ・教育長報告に対する質疑応答(防災関係) <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県 教育委員会・市町村教育委員会教育懇話会に出席した内容について報告。 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
12月5日(水)	第13回定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 H24年度一般会計補正予算(第8号)に対する意見について ・議案第2号 工事請負契約の締結について(長瀬小校舎外解体災害復旧工事) ・議案第3号 工事請負契約の締結について(荒浜中校舎外解体災害復旧工事) ・議案第4号 工事請負契約の締結について(地域交流拠点施設整備事業吉田地区工事) ・議案第5号 工事請負契約の締結について(地域交流拠点施設整備事業荒浜地区工事) ・議案第6号 工事請負契約の締結について(吉田体育館災害復旧工事) ・議案第7号 工事請負契約の締結について(荒浜体育館災害復旧工事) ・教育長報告 なし

	協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・指導主事訪問における教育委員の学校訪問について ・被災校の再校について情報交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
1月23日(水)	第14回定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 H24年度一般会計補正予算(第9号)に対する意見について ・報告第1号 教育委員会事務局の職員及び教育機関(県費負担教職員を除く)の任免について ・教育長報告 校長会での指示伝達事項について ・教育長報告に対する質疑応答(学力・学習状況調査関係)
	協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・悪天候(大雪など)の際の登下校等に関する意見交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
2月21日(木)	第15回定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 H25年度亘理町教育基本方針並びに教育重点施策について ・議案第2号 県費負担教職員の任免に関する内申について ・議案第3号 亘理町立小中学校の学校医の委嘱について ・議案第4号 亘理町立小中学校の学校歯科医の委嘱について ・議案第5号 亘理町立小中学校の学校薬剤師の委嘱について ・議案第6号 H24年度一般会計補正予算(第10号)に対する意見について ・議案第7号 H25年度一般会計予算に対する意見について ・議案第8号 H25年度奨学資金貸付特別会計予算に対する意見について ・報告第1号 工事請負変更契約の締結について(荒浜小災害復旧工事) ・教育長報告 2月校長会への指示伝達事項について
	協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に関する意見交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
3月25日(月)	第16回定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 教育委員会事務局の職員及び教育機関の職員(県費負担教職員を除く)の任免について ・議案第2号 社会教育委員の委嘱について ・議案第3号 スポーツ推進審議会委員の委嘱について ・議案第4号 スポーツ推進委員の委嘱について ・議案第5号 文化財保護委員会委員の委嘱について ・報告第1号 H24年度一般会計補正予算(第11号)に対する意見について ・報告第2号 県費負担教職員である校長及び教頭以外の者の任免に関する内申について ・教育長報告 3月校長会への指示伝達事項について ・教育長報告に対する質疑応答(不登校に関して)

	協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・被災校再校にあたって備品の状況について質疑応答 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
--	-----	---

8. 会議以外の活動状況

教育委員会の会議が開催される毎に、会議の終了後協議会を開催し、教育行政全般や学校を取り巻く話題などをテーマに協議し、情報の共有化と現在の教育情勢等についての知見を広げるよう努めました。

6月11日(月)には、学校訪問(町内全小・中学校)を実施し、校長・教頭等との意見交換など行い、教育行政の円滑な推進を図りました。

また、入学式・運動会・学習発表会・卒業式等学校行事への出席を通して学校の状況把握、情報収集等積極的に行いました。

10月24日(水) 社会教育委員合同研修(文化財・社会教育施設見学)を実施し、情報交換など交流を深めました。

Ⅲ 【 参考資料 】

9. 平成24年度 教育費内訳 (決算)

(単位：円)

項	目	平成22年度 決 算 額	平成23年度 決 算 額	平成24年度 決 算 額
1 教育総務費	1 教育委員会費	40,566,861	44,185,852	58,583,718
	2 事務局費	91,302,329	85,130,843	90,363,317
	小 計	131,869,190	129,316,695	148,947,035
2 小学校費	1 学校管理経費	151,159,949	156,137,279	113,869,192
	2 教育振興費	29,235,362	42,996,480	45,343,224
	小 計	180,395,311	199,133,759	159,212,416
3 中学校費	1 学校管理経費	100,622,604	91,261,927	84,300,897
	2 教育振興費	31,762,421	41,541,472	44,410,092
	小 計	132,385,025	132,803,399	128,710,989
4 社会教育費	1 社会教育総務費	49,622,161	48,619,701	49,772,630
	2 公民館費	86,987,489	85,829,568	76,062,777
	3 文化財保護費	10,660,099	7,136,103	5,898,248
	4 生涯教育費	63,383	46,910	57,078
	5 図書館郷土資料館費	137,912,023	136,800,913	152,264,532
	6 復興事業費	0	0	2,587,444
	小 計	285,245,155	278,433,195	286,642,709
5 保健体育費	1 保健体育総務費	39,910,984	31,267,891	41,290,798
	2 学校給食費	255,497,726	256,070,792	262,025,254
	3 保健体育施設費	32,590,660	15,395,653	19,384,153
	4 海洋センター費	25,150,439	19,568,078	12,082,884
	小 計	353,149,809	322,302,414	334,783,089
合 計		1,083,044,490	1,061,989,462	1,058,296,238

10. 学校の状況

1 在籍児童・生徒数及び学級編成

(1) 小学校

(平成24年5月1日現在)

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援		計	
	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級
亘理小	105	3	119	4	134	4	116	3	133	4	107	3	10	4	724	25
荒浜小	25	1	21	1	25	1	31	1	26	1	36	1	2	2	166	8
吉田小	21	1	21	1	18	1	27	1	27	1	21	1	2	1	137	7
長瀬小	28	1	28	1	35	1	34	1	42	2	32	1	3	2	202	9
逢隈小	80	3	88	3	81	3	102	3	97	3	109	3	9	2	566	20
高屋小	5	1	10	1	7	1	12	1	11	1	15	1	2	2	62	8
計	264	10	287	11	300	11	322	10	336	12	320	10	28	13	1,857	77

(2) 中学校

(平成24年5月1日現在)

学校名	1年		2年		3年		特別支援		計	
	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級
亘理中	144	5	165	5	149	4	7	4	465	18
荒浜中	27	1	32	1	39	1	1	1	99	4
吉田中	39	2	39	1	35	1	3	2	116	6
逢隈中	97	3	109	3	98	3	5	2	309	11
計	307	11	345	10	321	9	16	9	989	39

2 児童・生徒数の推移

(各年5月1日現在比較)

区分	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24
児童数	2,115	2,083	2,129	2,126	2,069	2,030	2,061	2,046	1,908	1,857
生徒数	1,204	1,162	1,085	1,086	1,055	1,093	1,070	1,028	989	989
合計	3,319	3,245	3,214	3,212	3,124	3,123	3,131	3,074	2,897	2,846

(1) 学校教育の充実

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 外国語指導助手配置事業	【担当班等】 学務課 教育総務班				
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ア 創意ある教育課程の編成 ① 基礎・基本の確実な習得と定着及び活用力の育成 ② 学習習慣の確立と主体的学習による学力向上の推進及び体験学習の充実					
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 各小・中学校に外国語指導助手を派遣し、中学校における外国語指導の充実を図るとともに、小学校での外国語活動及び国際理解教育の振興を図る。 <u>実施状況</u> 外国語指導助手の派遣を民間業者2者に委託し、各小中学校における指導計画等に基づき派遣している（小学校1名、中学校2名）。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">小学校外国語指導助手業務委託料</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">4,210,395 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">中学校外国語指導助手業務委託料</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">6,678,000 円</td> </tr> </table>		小学校外国語指導助手業務委託料	4,210,395 円	中学校外国語指導助手業務委託料	6,678,000 円
小学校外国語指導助手業務委託料	4,210,395 円				
中学校外国語指導助手業務委託料	6,678,000 円				
<u>成果と課題等</u> 派遣期間の制限や委託契約の業務内容等の契約条件について、契約担当課及び派遣・委託業者と連絡を取りながら、適正な契約に努めていく。 学習指導要領の改定により、小学校での外国語活動、中学校での外国語の授業時間数の増加や今後の社会のグローバル化を考えたときに、外国語指導助手として、良い人材を確保することが重要であることから、希望に沿った人材の確保について業者との連携を図るとともに、強く要望していく。また、彼らの新しい活用方法を検討する必要もある。					
【学識経験者の意見等】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後とも適切な対応をお願いします ・ 今後とも、いい人材を確保し、外国語活動の充実を図ってほしいと思います。 					

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】 小中学校情報教育事業</p>	<p>【担当班等】 学務課 教育総務班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>(1) 学校教育の充実</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 創意ある教育課程の編成</p> <p style="margin-left: 40px;">① 基礎・基本の確実な習得と定着及び活用力の育成</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 創意に満ちた学校経営</p> <p style="margin-left: 40px;">③ 教職員の研修の充実と学校評価を通じた創造的な学校経営の展開</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>概 要</u></p> <p>情報を扱う能力を高めることによって、児童生徒が情報社会の中で主体性や創造性を発揮できるようになることを目的とし、課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力を養う。</p> <p><u>小学校</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小中高の学年に応じて情報機器に慣れ、多様な情報の中で情報を主体的に選択・活用する体験やメディアの多様な活用を体験から情報の扱い方の基本を習得させることを重点的に行った。 2. 便利な反面、危険な面があることを認識させることにも力を注いだ。 3. 情報機器やメディアは道具としての手段であることを認識させる必要がある。 <p><u>中学校</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校での経験を発展させ、生徒の興味・関心に応じて選択的に履修できる発展的な内容を設け、資料の収集、処理や発表、数値計算や観察、実験などで、コンピュータや情報通信ネットワークを効果的に活用した。 2. 生徒自身が主体的に必要な情報を考え、それを収集、処理、伝達する方法として情報手段の活用を取捨選択する機会を与えることで、情報活用の実践力を育成した。 	

成果と課題等

現代社会で不可欠となっているパソコンなどの電子機器の基礎的な利用知識等の習得のための情報教育を行っていく上で、重要な役割をはたしている事業である。

しかし、コンピュータを扱うために専門的な知識を必要とすることもあり、指導する教員も新しい情報を常に入手し時代に即応する能力が求められることから、学校と設備を管理する教育委員会とが密接に連携していくことが必要である。

また、震災により中学校のハードの更新が延期されていることから、今後速やかに更新を図っていく。

ソフト面では研修会等の開催や外部研修会への参加を促し、今後も続々と出てくる機器や通信方法にも目を配り、情報モラルの習得に向けて児童生徒の指導に当たれるよう情報教育の充実を図りたい。

【学識経験者の意見等】

- ・ インターネットに関する問題の多発している今日、機種更新と同時に教師、児童生徒を対象にした研修を開き対応できるようお願いします。
- ・ インターネットの人権侵害の危険性についても、教員及び児童、生徒に対して研修の機会を計画的に設けてほしいと思います。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 小中学校教育振興事業（特色ある学校づくり）	【担当班等】 学務課 教育総務班
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実 ア 創意ある教育課程の編成 ② 学習習慣の確立と主体的学習による学力向上の推進及び体験学習の充実 イ 創意に満ちた学校経営 ① 地域に即した特色ある学校経営の推進	

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

概 要

平成14年度から実施された新学習指導要領による「総合的な学習」の創造的活動を展開し、学校が特色ある学校づくりを推進できるよう補助金を助成している。

実施状況

補助金交付申請書及び実績報告書の提出により、各学校の事業内容を精査することで、補助金の適正な執行を担保している。

学校は自由に事業を行えることから、地域に根差した総合的な学習を行っており、学校在り地区の文化、伝統を継承することに一役買っていると考えられる。

成果と課題等

実績報告書等で確認する限り、地域と学校の橋渡しとして有意義に補助金が執行されていることが伺える。今後も継続して補助していく意義は十分にあると感じている。

補助金は、各学校とも地域に根差した特色ある学校づくりに活用されており、さらに今後は特色ある教育活動の様子を各学校のホームページ等を活用して公表してほしいと考えている。

【学識経験者の意見等】

- ・ 各校とも限られた時数の中で地域に根差した特色ある学習に取り組み、成果もあげているようです。今後とも適切な対応をお願いします。
- ・ 各校の特色ある学校づくりのために大変有意義な事業になっています。今後とも、継続してほしいと思います。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>学校保健推進事業</p>	<p>【担当班等】</p> <p>学務課 教育総務班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>(1) 学校教育の充実</p> <p>ア 創意ある教育課程の編成</p> <p>④ 体力・運動能力の向上及び健康増進と安全教育の推進</p> <p>ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制</p> <p>⑥ 児童生徒の健全育成に関する関係機関との連携</p>	

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

概要と実施状況

学校における保健管理と保健教育について、児童生徒等の健康の保持増進を図ること、集団教育としての学校教育活動に必要な健康や安全への配慮を行うこと、自己や他者の健康の保持増進を図ることができるような能力を育成すること等の充実のために適切な指導及び支援を行った。

学校医（各校に配置）

校医	10名
眼科校医	2名
耳鼻科校医	1名
歯科校医	9名

児童生徒学校検診

校内検査（身長、視力、聴力、等）

検診機関による検査（尿検査、心電図検査、寄生虫卵検査、等）

校医による検診（内科、眼科、耳鼻科、歯科）

就学时健康診断

実施日：平成24年10月23日～10月25日

会 場：互理町中央公民館

対象者：25年度就学予定者（289名）

成果と課題等

震災後、むし歯数の増加や肥満傾向など子どもの健康が後退しており、全国的に低位である宮城県の中でも互理町は低位にいる状況である。更なる悪化を防止するために学校、専門機関や健康推進課等と連携を図り、健康観察を行いながら子どもの健康の向上を目指す対策を講じる必要がある。

また、体力・運動能力の向上についても各学校で工夫して取り組んでいるが、こちらも依然として低い傾向にある。震災による遊ぶ場所・遊ぶ時間の減少も要因の一つと考えられるが、健康増進と併せてこちらの対策も講じる必要がある。

【学識経験者の意見等】

- ・ 健康の保持増進を図るには、何より本人の自覚と家庭の協力がが必要です。学校教育の中で、PTA活動の中で、家庭教育支援事業の中で具体的に取り組むよう指導支援をお願いします。
- ・ 虫歯予防について、数値目標を設定し、それに向けて各機関PTA等と連携を図り、啓蒙に努めてほしいと思います。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】 特別支援教育推進事業</p>	<p>【担当班等】 学務課 教育総務班</p>
<p>【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ② 教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進 ⑥ 児童生徒の健全育成に関する関係機関との連携</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>概要と実施状況等</u></p> <p>障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行った。</p> <p>また、平成19年4月から「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられており、すべての小・中学校において障害のある幼児児童生徒の支援をさらに推進している。</p> <p>1. 学校見学及び教育相談</p> <p style="padding-left: 20px;">心身に障害のある学齢児童、学齢生徒等の就学先を決定するための準備として保護者、対象児童生徒等を対象に居住地校、特別支援学校の見学、教育に関する相談事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成24年6月～8月（随時個別対応） <p>2. 亘理町心身障害児就学指導審議会</p> <p style="padding-left: 20px;">教育委員会の諮問に応じ、心身に障害のある学齢児童、学齢生徒等の就学指導に関する重要事項を調査審議するため、亘理町心身障害児就学指導審議会を設置している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成24年11月8日（木） ・審議件数：98件（新就学8件 在学学生45名 ことばの教室 45名） ・出席者：委員（学校医、小中学校長、学識経験者、関係職員） 説明員（担任、担当保健師等） <p>3. 関係機関との連携</p> <p style="padding-left: 20px;">特別支援教育に関するネットワークを密にするため、特別支援教育地域センター校である山元支援学校主催の亘理・山元地区特別支援教育連絡会に参加し、また、必要に応じ、発達障害者支援センター、児童相談所、保健センター、ハローワーク等、福祉、医療、保健、労働関係機関との連携を図った。</p>	

4. 特別支援教育支援員の配置

障害のある児童生徒の学習上・生活上の支援を行うため、亶理町教育委員会の事業として特別支援教育に関する支援員を配置しその活用を図った。

- ・配置校：小中学校全校（小学校10名、中学校4名）

5. 町立小中学校特別支援学校児童・生徒合同訓練事業（七ツ森希望の家）補助金

亶理町立小・中学校特別支援学級設置校担当者会に対し補助金を交付した。

児童生徒の社会生活への適応力を高めること、共同学習を推進し社会生活への適応力を高めることを目的としている。

- ・事業内容：特別支援学級在籍児童生徒合同学習事業、校外活動（年4回）

成果と課題等

(1～3 について)

就学先決定に向けて関係機関と連携しながら個々の障害状態を把握した上で、保護者等に対し適切なガイダンスを行うことが必要である。24年度については概ね自己評価できるものとするが、年々障害を持った児童生徒が増加傾向であることから将来的に専門の相談員等を活用することも視野に入れる必要がある。

(5 について)

特別支援学級在籍の児童生徒数が増加しており、校外学習（町外）の際に町の大型バス（33人乗り）では対応できなくなってきた。不足分を別の公用車（ワゴン車等）で対応するも、職員の同乗が必要となるため、人的コストは非常に大きいと考える。今後は民間大型バスの借上げが検討事項となる。しかし、賃借料が発生することにより、宿泊費等に加えてさらに保護者の負担増が考えられるため、補助金の額について若干上乗せを検討したい。

(総括)

特別支援学級に在籍する児童生徒や通常学級でも特別に支援が必要な子の増加傾向を考えたときに、県に教職員の増員を申請しながら、町の単独事業である特別支援教育支援員の適正配置を今後も継続する必要がある。

【学識経験者の点検・評価・意見等】

- ・ 通常学級の中にも支援の必要な児童生徒がおり、担任教師にとって大きな負担となっています。今後より一層の支援員の拡充配置をお願いします。
- ・ 支援員の配置及び、補助金の交付等、児童生徒、保護者にとって大変有意義な事業になっています。今後とも、継続してほしいと思います。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業 特別支援教育就学奨励事業	【担当班等】 学務課 教育総務班												
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ③ 学習環境の整備充実と適切な管理													
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行い、対象児童生徒の就学を図る。なお、東日本大震災により被災した児童生徒の保護者に対しても、就学援助の対象としている。 特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、所得状況等に応じて必要な援助を行い、対象児童生徒の就学の奨励に努めるとともに特別支援教育の振興に資する。													
<u>実施状況</u>													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">要保護・準要保護就学援助費（小学校） （うち震災によるもの）</td> <td style="padding: 5px;">420 人 (278 人)</td> <td style="padding: 5px;">26,100,264 円 (17,601,736円)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">要保護・準要保護就学援助費（中学校） （うち震災によるもの）</td> <td style="padding: 5px;">264 人 (170 人)</td> <td style="padding: 5px;">25,388,115円 (16,967,371円)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">特別支援教育就学奨励費（小学校）</td> <td style="padding: 5px;">20 人</td> <td style="padding: 5px;">652,290円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">特別支援教育就学奨励費（中学校）</td> <td style="padding: 5px;">8 人</td> <td style="padding: 5px;">360,164円</td> </tr> </table>		要保護・準要保護就学援助費（小学校） （うち震災によるもの）	420 人 (278 人)	26,100,264 円 (17,601,736円)	要保護・準要保護就学援助費（中学校） （うち震災によるもの）	264 人 (170 人)	25,388,115円 (16,967,371円)	特別支援教育就学奨励費（小学校）	20 人	652,290円	特別支援教育就学奨励費（中学校）	8 人	360,164円
要保護・準要保護就学援助費（小学校） （うち震災によるもの）	420 人 (278 人)	26,100,264 円 (17,601,736円)											
要保護・準要保護就学援助費（中学校） （うち震災によるもの）	264 人 (170 人)	25,388,115円 (16,967,371円)											
特別支援教育就学奨励費（小学校）	20 人	652,290円											
特別支援教育就学奨励費（中学校）	8 人	360,164円											
<u>成果と課題等</u> 対象児童生徒数の増加に伴い、事業の円滑な実施のための財源確保が課題となっている。中でも「宮城県被災児童生徒就学支援事業費補助金」については、被災した児童生徒が就学援助の対象となっており、現行制度上は平成26年度までの措置であることから、平成27年度以降も引き続き補助を実施するよう県に求めていくとともに、県補助が廃止された場合の事業実施について検討が必要である。													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 要保護 → 要保護児童生徒援助費補助金（2分の1） ・ 準要保護 → 平成17年度より一般財源化 ・ 被災児童生徒 → 宮城県被災児童生徒就学支援事業費補助金（10分の10） ・ 特別支援学級 → 特別支援教育就学奨励費補助金（2分の1） 併せて、所得状況の確認に係る事務量の増大や事務の複雑化が課題となっている。													

【学識経験者の意見等】

- ・ 震災と雇用環境の悪化により経済的に厳しい家庭が増加しています。町財政厳しい状況ですが、要望者への支援をよろしくお願いします。
- ・ 長引く復興を踏まえ、対象児童生徒への支援を財源を確実に確保し、継続してほしいと思います。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>学校教育施設 管理整備事業</p>	<p>【担当班等】</p> <p>学務課 教育総務班</p>																								
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>(1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制</p> <p>③ 学習環境の整備充実と適切な管理</p>																									
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に、安心して学べる教育施設としての学校の施設・設備の機能の充実を図る。 ・ 施設整備を計画的に改修し、効率的な管理運営をする。 <p><u>小学校</u></p> <p>小学校では、教育の基礎づくりを行う場として、知、徳、体の調和のとれた心豊かな人間性の教育を目指し、将来の国家社会の良き形成者として、心身共に健やかな児童の資質を養うため施設設備の整備管理に努めた。</p> <p>【主要工事等（小学校）】</p> <table border="1" data-bbox="247 1491 1350 2078"> <tr> <td>① 亙理小学校普通教室掛け物改修工事</td> <td>393 千円</td> </tr> <tr> <td>② 亙理小・吉田小・逢隈小・高屋小エアコン設置工事</td> <td>5,108 千円</td> </tr> <tr> <td>③ 長瀬小学校バックネット設置工事</td> <td>498 千円</td> </tr> <tr> <td>④ 吉田小学校プール更衣室屋根補修工事</td> <td>459 千円</td> </tr> <tr> <td>⑤ 吉田小学校校舎1階暖房機設置工事</td> <td>735 千円</td> </tr> <tr> <td>⑥ 吉田小学校放送設備改修工事</td> <td>1,239 千円</td> </tr> <tr> <td>⑦ 高屋小学校体育館倉庫設置工事</td> <td>359 千円</td> </tr> <tr> <td>⑧ 長瀬小学校仮設通路設置工事</td> <td>245 千円</td> </tr> <tr> <td>⑨ 吉田小学校マンホール柵調整工事</td> <td>265 千円</td> </tr> <tr> <td>⑩ 亙理小学校外照明改修工事</td> <td>3,413 千円</td> </tr> <tr> <td>⑪ 荒浜小学校受水槽補修工事</td> <td>500 千円</td> </tr> <tr> <td>⑫ 荒浜小学校校内 LAN 配線工事</td> <td>302 千円</td> </tr> </table>		① 亙理小学校普通教室掛け物改修工事	393 千円	② 亙理小・吉田小・逢隈小・高屋小エアコン設置工事	5,108 千円	③ 長瀬小学校バックネット設置工事	498 千円	④ 吉田小学校プール更衣室屋根補修工事	459 千円	⑤ 吉田小学校校舎1階暖房機設置工事	735 千円	⑥ 吉田小学校放送設備改修工事	1,239 千円	⑦ 高屋小学校体育館倉庫設置工事	359 千円	⑧ 長瀬小学校仮設通路設置工事	245 千円	⑨ 吉田小学校マンホール柵調整工事	265 千円	⑩ 亙理小学校外照明改修工事	3,413 千円	⑪ 荒浜小学校受水槽補修工事	500 千円	⑫ 荒浜小学校校内 LAN 配線工事	302 千円
① 亙理小学校普通教室掛け物改修工事	393 千円																								
② 亙理小・吉田小・逢隈小・高屋小エアコン設置工事	5,108 千円																								
③ 長瀬小学校バックネット設置工事	498 千円																								
④ 吉田小学校プール更衣室屋根補修工事	459 千円																								
⑤ 吉田小学校校舎1階暖房機設置工事	735 千円																								
⑥ 吉田小学校放送設備改修工事	1,239 千円																								
⑦ 高屋小学校体育館倉庫設置工事	359 千円																								
⑧ 長瀬小学校仮設通路設置工事	245 千円																								
⑨ 吉田小学校マンホール柵調整工事	265 千円																								
⑩ 亙理小学校外照明改修工事	3,413 千円																								
⑪ 荒浜小学校受水槽補修工事	500 千円																								
⑫ 荒浜小学校校内 LAN 配線工事	302 千円																								

中学校

中学校では、主として国家及び社会の形成者としての必要な資質並びに将来の進路にかかわる基礎知識と技能及び能力を身に付け、心身共に健康な生徒を育成するため施設設備の整備管理に努めた。

【主要工事等（中学校）】

① 吉田中学校屋上防水改修工事	1,100 千円
② 逢隈中学校東側ネットフェンス改修工事	5,460 千円
③ 吉田中学校屋上防水改修工事	1,158 千円
④ 吉田・逢隈中学校保健室エアコン設置工事	2,189 千円
⑤ 亘理中学校小便器用感知フラッシュバルブ修理工事	498 千円
⑥ 吉田中学校屋内運動場支柱受金物設置工事	360 千円

成果と課題等

老朽化が進む施設や震災で被害を受けた施設が多数あり、修繕箇所及び費用が年々増加している。

特に、亘理小学校校舎や逢隈小中学校の体育館などでは、施設の更新についても検討しながら、無駄にならないよう優先順位をつけ、計画的に修繕・改修・更新を行っていく必要がある。

さらには、毎年、新たな補修箇所が発生し修繕等が追い付いていかない面もあるが、今後も児童生徒の安全面や教育環境の整備の為、迅速かつ計画的に点検・修繕・改修を行っていく。

【学識経験者の意見等】

- ・ 施設整備に関しては計画通りに実施されるようお願いします。スクールバスの活用については、生徒の自主性は重んじるべきとは思いますが、学校と連携を密にして安全に登下校できるようお願いします。
- ・ 今後とも、児童生徒の健康的で安全な学校生活を目指して点検、修繕等に努めてほしいと思います。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 公立学校施設災害復旧事業	【担当班等】 学務課 教育総務班																								
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ③ 学習環境の整備充実と適切な管理																									
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 東日本大震災により被災した小・中学校施設の改修・改装及び再校のために必要な備品購入を行い、児童生徒の学習環境の改善及び学校運営の適切な管理に努める。																									
<u>実施状況</u> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">長瀬小学校災害復旧工事 実施設計業務委託料</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">48,825,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">逢隈小学校災害復旧工事 実施設計業務委託料</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">21,000,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">荒浜小学校災害復旧工事 実施設計業務委託料</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">8,925,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">荒浜小学校災害復旧工事 監理業務委託料</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">6,982,500 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">荒浜小学校災害復旧工事 (校舎、体育館)</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">141,957,900 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">吉田小学校災害復旧工事 (渡り廊下、プールサイドほか)</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">9,132,900 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">長瀬小学校校舎外解体災害復旧工事</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">54,000,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">荒浜小学校被災備品購入事業</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">14,387,900 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">荒浜中学校災害復旧工事 実施設計業務委託料</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">67,200,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">逢隈中学校災害復旧工事 (校舎・体育館クラック補修ほか)</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">2,995,650 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">吉田中学校災害復旧工事 (体育館床補修、ネットフェンス改修ほか)</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">22,575,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">荒浜中学校校舎外解体災害復旧工事</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">93,450,000 円</td> </tr> </table>		長瀬小学校災害復旧工事 実施設計業務委託料	48,825,000 円	逢隈小学校災害復旧工事 実施設計業務委託料	21,000,000 円	荒浜小学校災害復旧工事 実施設計業務委託料	8,925,000 円	荒浜小学校災害復旧工事 監理業務委託料	6,982,500 円	荒浜小学校災害復旧工事 (校舎、体育館)	141,957,900 円	吉田小学校災害復旧工事 (渡り廊下、プールサイドほか)	9,132,900 円	長瀬小学校校舎外解体災害復旧工事	54,000,000 円	荒浜小学校被災備品購入事業	14,387,900 円	荒浜中学校災害復旧工事 実施設計業務委託料	67,200,000 円	逢隈中学校災害復旧工事 (校舎・体育館クラック補修ほか)	2,995,650 円	吉田中学校災害復旧工事 (体育館床補修、ネットフェンス改修ほか)	22,575,000 円	荒浜中学校校舎外解体災害復旧工事	93,450,000 円
長瀬小学校災害復旧工事 実施設計業務委託料	48,825,000 円																								
逢隈小学校災害復旧工事 実施設計業務委託料	21,000,000 円																								
荒浜小学校災害復旧工事 実施設計業務委託料	8,925,000 円																								
荒浜小学校災害復旧工事 監理業務委託料	6,982,500 円																								
荒浜小学校災害復旧工事 (校舎、体育館)	141,957,900 円																								
吉田小学校災害復旧工事 (渡り廊下、プールサイドほか)	9,132,900 円																								
長瀬小学校校舎外解体災害復旧工事	54,000,000 円																								
荒浜小学校被災備品購入事業	14,387,900 円																								
荒浜中学校災害復旧工事 実施設計業務委託料	67,200,000 円																								
逢隈中学校災害復旧工事 (校舎・体育館クラック補修ほか)	2,995,650 円																								
吉田中学校災害復旧工事 (体育館床補修、ネットフェンス改修ほか)	22,575,000 円																								
荒浜中学校校舎外解体災害復旧工事	93,450,000 円																								
<u>成果と課題等</u> 引続き事業の円滑な実施に努めるとともに、国庫補助等の交付申請、実績報告及び請求事務を確実に処理していく。 平成23年12月に亘理町震災復興計画が策定され、翌平成24年度は、本格的な復旧の第1年目となった。復旧・復興に向けた課題が山積する中、被災した学校の再校に向けて、一步一步事業が前進しているところであるが、地域住民からも早期に再校されることを広く期待されている。																									

【学識経験者の意見等】

- ・ 国庫補助も絡んだ大事業、大変でしょうが適切な管理運営をお願いします。
- ・ 被災校が一日も早く通常の教育活動が出来るよう、確実に事業を実施してほしいと思います。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>奨学金貸付事業</p>	<p>【担当班等】</p> <p>学務課 教育総務班</p>																																			
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>(1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ③ 学習環境の整備充実と適切な管理</p>																																				
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要と実施状況等</u></p> <p>町内に居住若しくは生活の基盤を置く高校生、高等専門学校生、専修校生、短大生及び大学生で、向学心に燃え学業・人物ともに優秀かつ健康な者で、経済的に学資の支弁が困難と認められるものに対し、奨学金を貸与し有望な人材の育成を図った。</p> <p>1. 亘理町奨学生選考委員会の開催状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催時期 : 平成24年5月 ・ 申請件数 : 8件 ・ 採用決定件数 8件 ・ 委員の構成 : 副町長、教育委員2名、有識者3名 計6名 <p>2. 貸付状況等（平成24年度貸付分）</p> <p>①平成24年度新規に決定した貸付者数及び貸付実施額等</p> <table border="1" data-bbox="188 1706 1401 2056"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>人数(人)</th> <th>月額(円)</th> <th>延月数(月)</th> <th>今年度貸付額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校生</td> <td>2</td> <td>12,000</td> <td>24</td> <td>288,000</td> </tr> <tr> <td>高等専門学校生</td> <td>0</td> <td>20,000</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>専修校生</td> <td>0</td> <td>25,000</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>短大生</td> <td>1</td> <td>25,000</td> <td>12</td> <td>300,000</td> </tr> <tr> <td>大学生</td> <td>5</td> <td>30,000</td> <td>59</td> <td>1,770,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8</td> <td></td> <td>95</td> <td>2,358,000</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	人数(人)	月額(円)	延月数(月)	今年度貸付額(円)	高校生	2	12,000	24	288,000	高等専門学校生	0	20,000	0	0	専修校生	0	25,000	0	0	短大生	1	25,000	12	300,000	大学生	5	30,000	59	1,770,000	計	8		95	2,358,000
区 分	人数(人)	月額(円)	延月数(月)	今年度貸付額(円)																																
高校生	2	12,000	24	288,000																																
高等専門学校生	0	20,000	0	0																																
専修校生	0	25,000	0	0																																
短大生	1	25,000	12	300,000																																
大学生	5	30,000	59	1,770,000																																
計	8		95	2,358,000																																

②平成23年度以前に決定した貸付者数及び貸付実施額等

区 分	人数(人)	月額(円)	延月数(月)	今年度貸付額(円)
高校生	3	12,000	36	432,000
高等専門学校生	2	20,000	24	480,000
専修学校生	0	25,000	0	0
短大生	1	25,000	12	300,000
大学生	6	30,000	72	2,160,000
計	12		144	3,372,000

③平成24年度の貸付者数及び貸付実施額等（合計）

区 分	人数(人)	月額(円)	延月数(月)	今年度貸付額(円)
高校生	5	12,000	60	720,000
高等専門学校生	2	20,000	24	480,000
専修学校生	0	25,000	0	0
短大生	2	25,000	24	600,000
大学生	11	30,000	131	3,930,000
計	20		239	5,730,000

成果と課題等

震災の影響で家計が苦しくなり、貸付の申請に至ったケースもあったので、震災復興の観点からも有意義な事業となっていると考えられ今後とも継続していく。

だが、貸付期間が終了後、就職出来ない、震災の影響で生活基盤を失った等の様々な理由で本人の収入が見込めず、償還が滞るケースも散見されている。

償還金は次の世代への貸付に充てられる資金でもあり、申請の段階でも必ず保証人を立てよう徹底していくことや、滞納者あてには継続的に督促を行うなどにより、滞納を出来る限り減らすよう努めていく。

【学識経験者の意見等】

- ・ 有望な人材を育成する上で、この事業は重要な役割を果たしています。今後も次世代への貸付事業に支障をきたさないよう粘り強い努力をお願いします。

悪質な滞納者については民間と同様に、その保証人に納めていただくことも必要かと思えます。保証人からの忠告は借主にとって無視できないものと思えます。

- ・ 無利息の有意義な貸付制度です。今後も長期に渡り、継続できるように事業を進めてほしいです。

3. 給食実施状況

区 分	給食費	週 5 回 (米飯 4 回、パン 1 回)	給食延人数	
小学校	2 5 5 円	1 7 4 回	346, 008 人	試 食 348人 職員等 5, 181人
中学校	2 9 7 円	1・2年生 1 6 8 回 3年生 1 6 3 回	177, 691 人	A L T 475人
山元支援学校	3 0 0 円	1 8 4 回	15, 449 人	

宮城県立山元支援学校については、山元町の中浜小学校で給食の供給を行っていたが、震災により同小学校が被災し支援学校に給食提供ができなくなったことから、本給食センターが山元支援学校に給食の提供をしている。

4. 放射能測定

【食材の測定】

翌日に使用する主要食材について、産地を確認し実施している。

【給食の測定】

調理済みの給食(500cc分)を混合し、配送前に毎日測定している。

成果と課題等

- ・ 食材サンプルの放射性物質検査の実施や、老朽化が進んでいる施設での衛生管理にも十分気を配り、安全・安心のできる給食の提供に努めるとともに、各学校へ出向いての食の指導にも努めた。
- ・ 異物混入やノロウイルス等の感染により学校給食を停止している市町村の給食センターが全国的にあるが、本給食センターでは今後も徹底した安全点検や感染予防対策を実施する。
- ・ 給食センターの施設は、老朽化しており早急に建替えの必要がでてきている。
- ・ 今後は、家庭での食育についても啓蒙を図りたい。

【学識経験者の意見等】

- ・ おいしい給食とともに、徹底した安全管理、感染予防をよろしく願います。老朽化した給食センターでの職員の方々のご努力に感謝いたします。
- ・ 今後も、衛生面、安全面対策を徹底してほしいと思います。また、老朽化による衛生面の不安も考えられ、早急な給食センターの建設を望むところです。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">私立幼稚園就園奨励事業</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">学務課 教育総務班</p>																														
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">(1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ⑥ 児童生徒の健全育成に関する関係機関との連携</p>																															
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要と実施状況等</u></p> <p>保護者の経済的負担軽減と、幼児教育の振興を目的として、入園料及び保育料を減免した私立幼稚園に対し補助を行いました。補助対象者は国が定めた限度額表に応じて選定しております。補助対象となった人数、幼稚園の内訳については以下のとおりです。</p> <p>1. 対象者数 ・・・・ 277人</p> <p>2. 事業費 ・・・・ 32,178,400円</p> <p>3. 各幼稚園内訳</p> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr><td>(1) いちょうの実幼稚園</td><td>・・・</td><td>12,442,600円</td></tr> <tr><td>(2) のぞみ幼稚園</td><td>・・・</td><td>3,989,200円</td></tr> <tr><td>(3) 岩沼さくら幼稚園</td><td>・・・</td><td>3,513,700円</td></tr> <tr><td>(4) 岩沼こぼと幼稚園</td><td>・・・</td><td>1,697,800円</td></tr> <tr><td>(5) 岩沼南こぼと幼稚園</td><td>・・・</td><td>2,362,000円</td></tr> <tr><td>(6) 岩沼西こぼと幼稚園</td><td>・・・</td><td>250,000円</td></tr> <tr><td>(7) ふじ幼稚園</td><td>・・・</td><td>4,982,700円</td></tr> <tr><td>(8) やまもと幼稚園</td><td>・・・</td><td>2,638,000円</td></tr> <tr><td>(9) 愛宕幼稚園</td><td>・・・</td><td>224,000円</td></tr> <tr><td>(10) ふたば幼稚園</td><td>・・・</td><td>76,400円</td></tr> </table> <p style="margin-top: 20px;">この事業は国庫補助の対象であるため、事業費の一部（1/3以内）が国庫補助金として町の歳入となります。平成24年度の交付額は次のとおりです</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">平成24年度国庫補助金交付額 7,337,000円</p>		(1) いちょうの実幼稚園	・・・	12,442,600円	(2) のぞみ幼稚園	・・・	3,989,200円	(3) 岩沼さくら幼稚園	・・・	3,513,700円	(4) 岩沼こぼと幼稚園	・・・	1,697,800円	(5) 岩沼南こぼと幼稚園	・・・	2,362,000円	(6) 岩沼西こぼと幼稚園	・・・	250,000円	(7) ふじ幼稚園	・・・	4,982,700円	(8) やまもと幼稚園	・・・	2,638,000円	(9) 愛宕幼稚園	・・・	224,000円	(10) ふたば幼稚園	・・・	76,400円
(1) いちょうの実幼稚園	・・・	12,442,600円																													
(2) のぞみ幼稚園	・・・	3,989,200円																													
(3) 岩沼さくら幼稚園	・・・	3,513,700円																													
(4) 岩沼こぼと幼稚園	・・・	1,697,800円																													
(5) 岩沼南こぼと幼稚園	・・・	2,362,000円																													
(6) 岩沼西こぼと幼稚園	・・・	250,000円																													
(7) ふじ幼稚園	・・・	4,982,700円																													
(8) やまもと幼稚園	・・・	2,638,000円																													
(9) 愛宕幼稚園	・・・	224,000円																													
(10) ふたば幼稚園	・・・	76,400円																													

成果と課題等

- ・ この事業により、幼稚園就園児童の保護者の経済的負担軽減が図られており、幼児教育の充実に大きな役割を担っていると考えます。

ただし、事務の面では、電算のシステムがなく手作業で入力処理などを行っているものなので、事業対象者の決定には2重3重のチェックが必要であり、神経を使います。また、震災による類似した制度があるため、利用者の制度理解を困難なものにしている面があります。

- ・ 国が定める限度額や対象者は増加傾向で支出は増加していますが、国庫補助金は事業費の1/3の更に約65パーセント程度で毎年推移しているため、町の財政的な負担が増えてきていますが、幼児教育の充実や他の幼児施設との負担の公平化の面からも、本事業は必要不可欠な制度であると考えています。
- ・ 子育て中の保護者の経済的負担の軽減を考慮すれば、事務手続き等の負担はあるが今後も必要な事業である。また、子どもの情報の共有化を図るため、今後も保育所・幼稚園・小学校との連携を強めていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・ 手作業で行っているとのこと、大変で苦勞も多いことと思います。もれおちることのないよう一層の心配りをお願いいたします。
- ・ 今後とも、保護者の負担軽減のため、確実に事業を遂行してほしいと思います。

(2) 生涯学習の充実と振興

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習推進体制の整備充実</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 生涯学習班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">(2) 生涯学習の充実と振興</p> <p style="text-align: center;">① 生涯学習推進体制の整備充実</p>	
<p>【事務及び事業等の概要と実施状況等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯学習を総合的に企画・調整・推進するため、生涯学習推進組織の整備充実や指針の策定など、生涯学習推進体制の整備を図る。 2. 民間指導者や生涯学習ボランティアの発掘・育成に努め、生涯学習支援人材バンクの充実を図る。 <p><u>実施状況</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育運営方針を策定し、生涯学習関係職員定例会により生涯学習を総合的に推進した。 2. 人材バンク登録状況 個人 33 団体 13 ホームページに掲載し登録の募集、利用方法をPR <p><u>成果と課題等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習関係職員定例会により、職員間の情報交換・連携強化を図ることができた。 ・ 人材バンクの利用・登録が少ない状況にあるので、更にPRなどを増やす工夫が必要である。 他に各学校で協力をもたらしている人材も把握して活用することも考えられる。 	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な運営をお願いいたします。 ・ 人材バンクは小中学校の「総合的な学習の時間」等における外部人材の活用との関連を図るのが望ましいと思われま。 	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習に関する情報管理・提供体制の充実</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 生涯学習班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 生涯学習の充実と振興</p> <p style="margin-left: 40px;">② 生涯学習に関する情報管理・提供体制の充実</p>	
<p>【事務及び事業等の概要と実施状況等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広報誌やホームページに加え、生涯学習カレンダー発行により多様に進められている学習活動の情報を集約し、一層の充実を図る。 2. 施設の空き部屋情報をインターネットを通じて、町民に提供するシステムを検討する。 <p><u>実施状況</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広報誌・ホームページ・FMあおぞらによる、各種教室・講座の告知と受講生の募集・生涯学習カレンダー発行 3月発行 550部 2. 空き室情報の検討 未実施 <p><u>成果と課題等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各媒体により町民に対し周知することができた。 ・ インターネットを通じた空き部屋情報システムは、利用者のほとんどが継続的に利用している状況にあり費用対効果は低いと思われる。 ・ 今後ともいろいろな媒体を通して、町民に情報を提供していきたい。 	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果と課題等の②については必要ないと思います。情報管理提供体制について計画通りをお願いします。 ・ 空き室情報は電話での問い合わせで十分と思われます。 	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習機会の拡充と学習活動の促進支援の強化</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 生涯学習班</p>																				
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">(2) 生涯学習の充実と振興</p> <p style="text-align: center;">③ 生涯学習機会の拡充と学習活動の促進支援の強化</p>																					
<p>【事務及び事業等の概要と実施状況等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域住民の学習ニーズを定期的に把握し、教室・講座を開催する。 2. 学習成果の多様な発表の場を提供する。 <p><u>実施状況</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">1. 公民館の教室・講座を開催</td> <td style="width: 15%;">9講座</td> <td style="width: 15%;">受講者数</td> <td style="width: 40%;">225人</td> </tr> <tr> <td>2. 公民館まつり</td> <td>作品展示団体</td> <td>11団体(実演2団体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ステージ発表団体</td> <td>22団体</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬店協力団体</td> <td>5団体</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>500人</td> <td></td> </tr> </table> <p><u>成果と課題等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成24年度から震災復興に向けた行政組織体制により、4公民館の事業（社会教育・社会体育）を生涯学習課で実施しているが、生涯学習課職員数の減(H23 10人→H24 9人)、中央公民館職員(△5人)、生涯学習事業の増(家庭教育、人権、被災児童の心のケア、防災教育等)などのため、震災前の事業量はこなせない状況にある。 ・ 地域住民による自主運営により、地域課題解決のための計画を地域住民の視点で策定しながら、行政との協働や地域のための取り組みを行う「まちづくり協議会」が設立されているので、住民自らが地域課題解決等に取り組むために必要な事業を検討し、教育委員会事務局との協働参画での実施を実現していきたい。 		1. 公民館の教室・講座を開催	9講座	受講者数	225人	2. 公民館まつり	作品展示団体	11団体(実演2団体)			ステージ発表団体	22団体			模擬店協力団体	5団体			来場者数	500人	
1. 公民館の教室・講座を開催	9講座	受講者数	225人																		
2. 公民館まつり	作品展示団体	11団体(実演2団体)																			
	ステージ発表団体	22団体																			
	模擬店協力団体	5団体																			
	来場者数	500人																			
<p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員数が少ない中での4公民館の事業運営は厳しい状況にあり、ご苦労も多いことと思います。これまで同様、まちづくり協議会等、他機関、他団体と連携を取りながら事業を進めてほしいと思います。 ・ 人員減にもかかわらず、事業増の現状は担当者に大きな負担となっていると思われます。まちづくり協議会の位置づけを明確にし、事業を分担して実施していくことが望まれます。 																					

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">多様な学習機会及び交流機会の充実</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 生涯学習班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">(2) 生涯学習の充実と振興</p> <p style="text-align: center;">④ 多様な学習機会及び交流機会の充実</p>	
<p>【事務及び事業等の概要と実施状況等】</p> <p><u>概要と実施業況等</u></p> <p>1. 成人教育</p> <p style="padding-left: 20px;"><u>各分野のニーズに対応した成人教育等の充実を図る。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性団体リーダー研修会 11団体 46人参加 ・成人式 出席273名 ・わたり復興ライブ 出演団体7 出演者14名 協力者4名 89人参加 ・町長杯将棋大会 27人参加 <p>2. 青少年教育</p> <p style="padding-left: 20px;"><u>青少年教育の推進や健全育成活動の促進、家庭教育や子育て支援に関する教育事業を積極的に推進し次代を担う子どもの育成や家庭、地域の教育力向上に努める。</u></p> <p>①人権教育事業</p> <p>(1)人権教育推進講座 亙理児童クラブ共催 4回 82人参加</p> <p>(2)人権教育体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盲導犬を通して視覚障がい者の人権を考える 4小学校 140人参加 ・車いすバスケットを通して身体障がい者の人権を考える 2小学校 417人参加 <p>②姉妹・友好都市シニアリーダー研修・交流会 4人参加</p> <p>③インリーダー研修 15人参加</p> <p>④ジュニア・リーダー初級研修 21人参加</p> <p>⑤シニアリーダー研修会 17人参加</p> <p>⑥わたり未来づくり発表会 発表者20人 200人参加</p> <p>⑦「子どもをみまもり隊」合同研修会 120人参加</p> <p>⑧町内巡回指導・有害広告除去活動 9人参加</p>	

3. 家庭教育支援

①家庭教育支援チーム「ぶらんこ」を中心とした事業

- (1) 早寝早起き朝ごはん等の子どもの生活習慣づくりを学ぶ 4小学校 312人参加
- (2) 入学前後の親の心得を学ぶ 1小学校 27人参加
- (3) 新入学児童保護者説明会における家庭教育ワンポイントアドバイス
5小学校 279人参加

②子育てサポーター「らびっと」を中心とした事業

- (1) 子育てサポーター養成講座 23人参加
- (2) 子育てサロン「ピープル・ツリー」 10回 261人参加
- (3) 「三歳児の世界」学習講座 おひさまサロン 117組（264名）
- (4) 思春期保健体験事業 3中学校 1,241人参加

成果と課題等

各事業が予定通りに実施され、成果を得ることができた。家庭教育支援事業では、平成23年「学ぶ土台づくり」推進計画などを活かし、幼児教育の充実を図っていく必要がある。

【学識経験者の意見等】

- ・ 年々事業も拡大、内容も充実してきており大変良いと思います。今後も県や管外の諸団体と連携を取りながら事業を推進していただければと思います。
- ・ 成果が得られたこと何よりです。今後も積極的に推進してほしいと思います。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 図書館活動	【担当班等】 図書館 総務班
【重点施策の項目等】 (2) 生涯学習の充実と振興 ⑤ 図書館活動の充実	

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

概要と実施業況等

1. 地域の情報拠点、また町民の読書施設として、多様な資料・情報を提供し、町民の生活・地域の発展・文化の向上に寄与するよう努め、町民一人ひとりへのサービス提供とともに、団体、地域、学校等と連携しながら生涯学習を幅広く支援していく。

2. 図書館の蔵書数等(25年3月31日現在)

蔵書数	視聴覚資料	貸出数	入館者数
150,609冊	8,098点	144,073点	122,812人

貸出数は、前年度比17,319人の増加、入館者数は、13,789人増加となった。

3. 子ども読書活動の推進は、「おはなし会」を毎週水曜日に開催し、更に、読書週間に併せて「スペシャルおはなし会」・「クリスマスおはなし会」を行い本と親しむ機会の提供に取り組んだ。

4. 大人向けとして、図書館講座「大人のためのおはなし会」・「わくわく絵本講座」を開催した。

5. 本の「企画展示」・「季節展示」を行い、いろいろな本を紹介している。

6. 学社融合事業として、逢隈小学校・高屋小学校で、おはなし会を実施した。

7. 町内の小中学校へ1,911冊貸し出した。

8. ボランティア・団体等に787冊貸し出した。

成果と課題等

- ・ 入館者及び貸出冊数については、前年度比では増加したが東日本大震災発生以前と比較すると、まだまだ少ない状況なので、図書館だより・図書館ひろばの広報誌を小学校及び仮設住宅集会所へ配布し、入館者の増加に努めた。
- ・ 「おはなし会」の定期開催により本と親しむ機会の提供が行えた。また幼児に対する読み聞かせの大切さを啓発し、家庭における実践を促すことが出来た。
- ・ 効率的に資料を追加するとともに、現況調査等による分析に基づいた既存資料の除籍を行うことにより、資料収蔵スペースの確保に努めていく。
- ・ 被災した学校では、まだ蔵書数が少ない現状にあり、図書館からの本の貸し出しを積極的に進めたい。また、読書活動を推進し心豊かな児童生徒を育むために、図書館司書と学校の司書教諭との連携も図っていきたい。

【学識経験者の点検・評価・意見等】

- ・ 一口に図書館活動と言っても内容は多岐に渡り、企画運営に苦勞も多いかと思ひます。開かれた図書館として今後も運営されるようよろしくお願ひします。
- ・ 町の情報拠点として町民の生涯学習に寄与するとともに、学校図書館との連携を深め、学社融合を一層進め、学校教育を積極的に支援してほしひと思ひます。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>生涯学習拠点施設の整備充実</p>	<p>【担当班等】</p> <p>生涯学習課 生涯学習班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>(2) 生涯学習の充実と振興</p> <p>⑥ 生涯学習拠点施設の整備充実</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>概 要</u></p> <p>1. 中央公民館をはじめとする各施設を計画的に改修する。</p> <p>2. 利用者が利用しやすい管理運営に努める。</p> <p><u>実施状況</u></p> <p>1. 中央公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2階エントランス外エアコン設置工事(繰越) 14,834,400円 ・ 災害復旧工事 48,266,000円 ・ 舞台音響改修・舞台吊物・舞台幕改修・正面階段床タイル等改修工事 16,017,750円 ・ エレベーター耐振対策工事 386,400円 <p>2. その他の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働く婦人の家 駐車場区画線設置工事 238,500円 ・ 悠里館災害復旧工事 28,453,000円 ・ 勤労青少年ホーム災害復旧工事 72,917,250円 ・ 農村環境改善センター災害復旧工事 66,542,700円 <p>3. 利用者が利用しやすい管理運営に努めた。</p>	

成果と課題等

- ・ 勤労青少年ホーム・農村環境改善センターが災害復旧工事、保健センターが震災のため危険建物となり、健診等の会場として中央公民館に利用が集中したが、利用しやすい管理運営に努めた。
- ・ 平成23年12月に亘理町震災復興計画が策定され、翌平成24年度は、本格的な復旧の第1年目となった。復旧・復興に向けた課題が山積する中、被災した生涯学習拠点施設の再開に向けて改修を進めた。老朽化した施設も多いので今後とも計画的な改修が必要である。

【学識経験者の意見等】

- ・ 適切に処理していると思います。
- ・ 今後も、利用しやすい管理運営に努めてほしいと思います。

(3) 文化の創造と活用

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">活動拠点施設の整備と全町的な芸術文化活動の推進</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 生涯学習班</p>						
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">(3) 文化の創造と活用</p> <p style="text-align: center;">① 活動拠点施設の整備と全町的な芸術文化活動の推進</p>							
<p>【事務及び事業等の概要と実施状況等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町民会館の整備について検討する。 2. 講演会や演劇公演、音楽会など優れた芸術文化に接する機会の拡充に努める。 <p><u>実施状況</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町民会館の整備検討 未実施 2. 優れた芸術文化に接する機会の拡充努めた。 (東日本大震災復興基金交付金基金を活用) <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">青少年劇場小公演（馬頭琴）</td> <td style="padding: 2px 10px;">荒浜中学校 9月25日(火)</td> <td style="padding: 2px 10px;">9 9 名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">巡回小劇場（東京金管五重奏団）</td> <td style="padding: 2px 10px;">逢隈小学校10月17日(水)</td> <td style="padding: 2px 10px;">5 6 6 名</td> </tr> </table> <p><u>成果と課題等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民会館の整備については、町づくりの計画と併せた計画の検討が今後必要である。その計画が具体化した段階において今後実施する事業も検討したい。 ・ 心のケアの一環として町内全小中学校ローテーションで実施している。 		青少年劇場小公演（馬頭琴）	荒浜中学校 9月25日(火)	9 9 名	巡回小劇場（東京金管五重奏団）	逢隈小学校10月17日(水)	5 6 6 名
青少年劇場小公演（馬頭琴）	荒浜中学校 9月25日(火)	9 9 名					
巡回小劇場（東京金管五重奏団）	逢隈小学校10月17日(水)	5 6 6 名					
<p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復興事業を第一に計画的に着実に進めていただきたいと思います。 ・ 今後も、多くの児童生徒が優れた芸術文化に接する機会を設けてほしいと思います。 							

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">芸術文化団体の育成と指導者の確保</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 生涯学習班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">(3) 文化の創造と活用</p> <p style="text-align: center;">② 芸術文化団体の育成と指導者の確保</p>	
<p>【事務及び事業等の概要と実施状況等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町芸術文化協会をはじめ各種文化団体サークルの自主的活動を積極的に支援する。 2. 芸術文化の向上を図るため優れた個人・団体・指導者を亘理町文化賞で顕彰する。 <p><u>実施状況</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 亘理町文化祭 展示14団体 芸能27団体 特別ゲスト 仙臺すずめ踊り連盟 日赤奉仕団と亘理地区まちづくり協議会共催による芋煮等 2. 亘理町文化賞の顕彰 奨励賞9名 <p><u>成果と課題等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災前の自主的活動が再開できるように、町芸術文化協会をはじめ各種文化団体サークル等に対し積極的な支援を行った。 ・ 顕彰対象者について申請がある場合以外に、新聞等で情報を得て探すのは難しい点もあるが、芸術文化の向上を図るため、今後も亘理町文化賞で顕彰を行っていく。 	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切に行われていると思います。 ・ 各種文化団体サークルの自主的活動は町を活気づかせ、町の文化の発展に大いに寄与しています。今後も積極的に支援をしてほしいと思います。 	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">文化財保護事業</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 文化財班</p>
---	--

【重点施策の項目等】

(3) 文化の創造と活用

③ 文化財・文化遺産の保護・保存と活用の推進

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

事業の概要と実施業況等

文化財周辺の環境整備と、文化財の標柱・案内板の設置や現状点検等保護・保存に努めた。

1. 文化財保護委員会

第1回文化財保護委員会 平成24年 6月26日開催

第2回文化財保護委員会 平成24年12月 2日開催

2. 文化財標柱設置事業

設置数 3カ所

設置場所 町指定文化財 大雄寺山門、小堤城跡、
延喜式内社 鹿島天足和気神社

3. 県指定文化財 伊達成実霊屋御開帳

亙理伊達家初代領主伊達成実公霊屋並びに木造を年2回一般公開し、8月開帳日には説明会を実施した。

期 日 1回目：8月16日 参加者108人（説明会参加者19人）

2回目：1月16日 参加者52人

場 所 大雄寺境内

4. 文化財防火査察・防火訓練

「文化財防火デー」にちなみ町指定文化財木造関の観音立像の防火査察及び防火訓練を亙理消防署、町教育委員会、文化財保護委員、近隣関係者、婦人防火クラブの方々で行った。

期 日 平成25年1月25日 参加者45人

場 所 観音院

5. 発掘調査

震災復興に係る発掘調査 11件

一般開発事業に係る発掘調査 8件

※ 国指定史跡三十三間堂官衙遺跡調査を予定していたが、震災復興事業に伴う発掘調査を優先させるためこれを中止した。

成果と課題等

- ・ 文化財保護関連については、一部の文化財に震災の影響も見られたが、点検・保護・保存に努めた結果、ほぼ予定通りの事業を実施することができた。環境整備については、さらに定期的に点検を行い対応に努めていきたい。
- ・ 文化財の周知・普及活動の充実を図っていくことが町のPR・活性化にもつながると考える。
- ・ 発掘調査については、震災復興に伴う調査件数が増加したことにより当初計画を変更せざるを得なかったことから、事業全体に遅れが生じた。調査事業のみならず調査成果を保存・周知・活用していくためにも、調査・事務従事体制の充実と臨機応変な対応を行っていくことが必要だと考える。

【学識経験者の意見等】

- ・ 文化財保護関連事業については震災の影響大ではなかったかと思います。計画的に確実に事業を進めていただきたいと思います。どの部局もそうですが、関係の方々のご苦勞に感謝しています。
- ・ 文化財及び発掘調査の成果の周知を図り、町のPRに役立ててほしいと思います。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 文化財めぐり事業	【担当班等】 生涯学習課 文化財班
【重点施策の項目等】 (3) 文化の創造と活用 ③ 文化財・文化遺産の保護・保存と活用の推進	

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

事業の概要と実施業況等

町内すべての小学6年生が町内に現存する史跡・遺跡を実際に見学し、亘理町についてより一層理解を深めるとともに貴重な文化財の保護保全に対する関心を高めることを目的として、5月～6月に計10回行い、総勢330人が参加した。

内容は、国指定の史跡・天然記念物、県指定文化財を中心に亘理の歴史上重要な史跡・遺跡6か所と、補足・復習のため郷土資料館を学級ごとに見学している。

現地を訪れ、自身の目で見て感じることで、先人たちが築き継承してきた文化財を大切に守り伝えていこうとする意識の向上が図れた。また、各校の立地環境や修学旅行先を考慮した現地説明を行い、町の歴史を漠然とではなく身近に感じられる効果を上げている。

成果と課題等

- ・ 亘理の史跡・遺跡を実際に見学し学習することにより、亘理町の一層の理解と文化財保護への関心を高めることができた。
- ・ 文化財めぐりのパンフレットを事前に配付しているが、学級によって事前学習の状況が異なるため興味関心度に差異が出ることと、町バスの定員を超える児童数の場合に町バスと公用車に分乗するため車中で行う説明に違いが生じる点については改善の余地がある。
- ・ 亘理町の将来を担う児童生徒のため、亘理町の震災後の様子を見学・学習する機会の提供も考えてみたい。

【学識経験者の意見等】

- ・ まちづくり協議会で散歩しながら亘理の歴史を勉強する「わたり散歩みち」を実施していますが、サイクリングやウォークラリー等、コースの中に史跡や遺跡等を組み込み親しんでもらう行事があってもいいのではと考えます。学校においては担任まかせにならないよう歴史教育の中に位置づけてもいいのでは。
- ・ 子どもたちの歴史教育のため、重要な事業であり、スクールバスも活用して児童の輸送が円滑にできるようにしてほしいと思います。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">郷土資料館事業（資料収集・保存）</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 文化財班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">（3）文化の創造と活用 ③文化財・文化遺産の保護・保存と活用の推進</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要と実施業況等</u></p> <p>1. 資料収集・保存</p> <p style="padding-left: 20px;">「収集」</p> <p style="padding-left: 40px;">町内の個人、団体から64点の資料が寄贈された。また、亘理町小学校から教科書等397点の資料が移管された。</p> <p style="padding-left: 20px;">「保存」</p> <p style="padding-left: 40px;">全館くん蒸 期間 平成24年11月20日～22日</p> <p style="padding-left: 40px;">場所 常設・企画展示室、収蔵庫（合計4209.5m³）</p> <p style="padding-left: 20px;">「施設・設備の保守」</p> <p style="padding-left: 40px;">施設・設備を効果的に運用するため、点検作業を委託し、常設展示室やくん蒸庫の適切な保守に努めた。</p> <p>2. 被災ミュージアム再興事業</p> <p style="padding-left: 20px;">被災資料の整理と保管、修復、被災した博物館等の再興を目的とした事業（宮城県委託事業）</p> <p style="padding-left: 20px;">「資料レスキュー」</p> <p style="padding-left: 40px;">荒浜地区の旧家から段ボール10箱分の資料を搬入した。</p> <p style="padding-left: 20px;">「資料整理」</p> <p style="padding-left: 40px;">荒浜地区の旧家からレスキューした被災資料、段ボール約280箱分（資料総数20,000点以上）を整理した。</p> <p style="padding-left: 20px;">「建設」</p> <p style="padding-left: 40px;">資料保管用プレハブを建設し、3月に完成した。延べ床面積66.93m²</p>	

成果と課題等

- ・ 震災後に荒浜地区ほかの旧家からレスキューした貴重な資料を「被災ミュージアム再興事業」（宮城県委託事業）を使って整理と保管を進めている。20,000点を超える資料を再興事業が終了する28年度までにある程度形にしておかなければならず、大きな負担となっている。
- ・ 収蔵設備の充実、整理要員の確保など課題はあるものの、28年度までしっかりとした計画を立て一つ一つクリアしていかなければならないと感じている。
- ・ 貴重な寄贈資料や被災資料についての整理保管を今後も継続していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・ 限られた人数、限られた期間内で膨大な資料を整備しなければならない厳しい状況のようですが、より一層のご努力をお願いいたします。
- ・ 重要な事業ですので、整理要員を確保し、着実に整理保管を進めてほしいと思います。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 郷土資料館事業（展示関係）	【担当班等】 生涯学習課 文化財班
【重点施策の項目等】 （3）文化の創造と活用 ④郷土の歴史と生活文化に親しむ活動の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要と実施状況等</u> 1. 第16回収蔵資料展 期 間 平成24年5月5日～7月1日（開催日数48日） 観覧者数 1,147人（1日平均24人） 観覧料 常設展料金	

2. 宮城の発掘調査パネル展

期 間 平成24年7月24日～8月30日（開催日数33日）

観覧者 426人（1日平均13人）

観覧料 無料

3. 企画展「資料でみる亙理の明治・大正時代」

期 間 平成24年10月6日～11月18日（開催日数37日）

観覧者 1,245人（1日平均34人）

観覧料 一般100円/高校生50円/小中学生無料

常設展観覧者は、無料

4. テーマ展「囲炉裏と茶の間」同時開催「亙理のいろはかるた原画展」

期 間 平成25年2月16日～3月24日（開催日数31日）

観覧者 1,621人（1日平均53人）

観覧料 無料

成果と課題等

- ・ 展示事業については当初の予定どおり実施できたが、近年は生活スタイルや趣味嗜好の変化により町民のニーズも多様化しており、入館者の動向が年ごとに大きく変わってきているため、予想がしづらくなってきている。
- ・ 展示内容や広報・告知の方法を工夫しながら積極的に行う姿勢が必要であると感じた。

【学識経験者の意見等】

- ・ せっかく作った「亙理のいろはかるた」を郷土の歴史生活文化に親しむ活動として活用してほしいと思います。
- ・ 町のPRのためにも、積極的な広報活動が必要と思われます。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 郷土資料館事業（教育普及活動）	【担当班等】 生涯学習課 文化財班
--	--------------------------------

【重点施策の項目等】

(3) 文化の創造と活用

④郷土の歴史と生活文化に親しむ活動の推進

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

事業の概要と実施状況等

1. 「特別開館日」関係

観覧料無料で、体験コーナー、各種イベントを行った。

「G o G o 悠里館まつり」(図書館との合同事業)

期 日 平成24年 5月 5日 (こどもの日) 観覧者273人

「オープンミュージアム」

期 日 平成24年11月 3日 (文化の日) 観覧者155人

2. 夏休み子ども講座「勾玉を作ってみよう」

期 日 平成24年8月18日

参加者 57人 (午前31人+午後26人)

3. 年中行事講座「おひなさまを作ろう」

期 日 平成25年2月23日

参加者 31人

4. 資料の貸出と学芸員の派遣事業(学社融合推進事業)

①期 日 平成24年11月7日

場 所 亘理小学校

参加者 4年生120人

内 容 「用水を作った道具」の展示及び体験指導を行った。

②期 日 平成25年2月20日

場 所 長瀬小学校

参加者 3年生36人

内 容 「むかしの生活道具(みの、手回し洗濯機)」の授業への貸出

5. 出前講座事業「移動しりょうかん」(学社融合推進事業)

「昔のくらしの道具の学習と体験」

期 日 平成25年1月29日、2月1日、2月4日

場 所 高屋小、逢隈小、長瀬小

参加者 高屋小8人、逢隈小83人、長瀬小36人(小学3年生)

6. 「ものしり大学院」講座

第1回「幕末維新における東北地方の情勢について」

期 日 平成25年3月24日

講 師 東北大学災害科学国際研究所 助教 天野真志氏

参加者 124人

第2回「亘理伊達家の北海道移住と開拓」

期 日 平成25年3月30日

講 師 伊達市噴火湾研究所 学芸員 伊達元成氏

参加者 128人

7. 博物館実務実習

期 間 平成24年8月17日～24日

実習生 宮城学院女子大学3年生 2人

東北学院大学3年生 1人

成果と課題等

- ・ 各事業・講座等への参加者が増加しており、今後も教育普及活動と内容の充実した事業の実施に努めたい。
- ・ 教育普及活動の内容はここ数年固定化していてマンネリ化が心配されているのだが、参加者は増える傾向にある。これは資料館の教育普及活動が広く知られるようになったことが原因と考えている。うれしいことではあるがこれに甘えず、内容の見直し、精査を行ない、より良い事業にしていかなければならないと考えている。

【学識経験者の意見等】

- ・ 担当の方のご努力に敬意を表します。「ものしり大学院」毎回楽しみに参加させていただいております。
- ・ 「ものしり大学院」等、学術的にもレベルの高い講座は、今後も講師の充実を図り、町内外から参加者を募ってほしいと思います。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 町史編纂事業	【担当班等】 生涯学習課 文化財班
-------------------------------	--------------------------------

【重点施策の項目等】

(3) 文化の創造と活用

⑤ 町史編さん事業の推進

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

事業の概要と実施状況等

1. 第1回町史編さん委員会

期 日 平成24年7月25日

内 容 ①辞令交付 委員：10名 任期：平成24年7月1日～

平成26年6月30日

②委員長、副委員長の選任について

③互理町史編纂のこれまで

④平成24年度の事業計画

2. 町史編さん調査

①執筆者、調査員の新任について

11月から民俗部会で執筆者、調査員として引地恵氏を新任した。

②調査回数 自然編 6回

調査場所 浜吉田、鳥の海、高須賀周辺

民俗編 33回（個別31回、共同調査2回）

調査項目 衣、食生活、年中行事、信仰、民俗芸能、水利文献

*調査のほか部会において刊行時期、活動計画などを協議した。

3. 今後の予定について

互理町史「自然編」については、平成26年度刊行予定（現在は平成28年度刊行予定に変更）、「民俗編」については、平成27年度刊行予定。資料編は小冊子形式とし、全10巻前後を随時刊行していく。

成果と課題等

- ・ やむを得ないが、東日本大震災の影響により町史自然編・民俗編の刊行予定は大幅に変更せざるを得なくなった。特に自然編においては津波被害そのものより、復旧工事・復興事業による自然環境への影響が大きく、復興事業がある程度落ち着くまで待たなければならない状況になっているが、その進捗状況に注視しながら、今後も取り組んでいきたい。

- ・ 震災後、資料レスキュー事業が加わったため、町史編纂事業に時間を割く余裕がなくなり、事業の進行が遅れ気味になっている。編纂委員からは町史編纂に専念できる人材の確保を強く求められている。しかし、復興等により人員配置が難しい状況となっており、作業の効率化など工夫しなければならないと感じている。

【学識経験者の意見等】

- ・ 人材確保もままならない、限られた人数、財政の中で、しかも大震災の影響で計画的に進めることは困難なことと察します。できるところから着実に進めていただきたいと思います。
- ・ 担当者が少なければ、事業の進行が遅れるのは当然であり、町史編纂に専念できる人材の確保が必要と思われます。

(4) 社会体育とスポーツの振興

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">公民館事業（社会体育） （亘理中央・逢隈・荒浜・吉田地区公民館）</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">（４）社会体育とスポーツの振興 ①町民総参加による生涯スポーツの振興</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会体育事業を通し地域住民相互の親睦融和と健康増進、明るい豊かな地域づくりを図る。 <p><u>実施状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災後 4 地区の事業が生涯学習課で行なうことになった。職員も限られた人数の為事業数を短縮して行うことになった。 ・ 事業内容については、ニュースポーツ等を取り入れだれでも参加しやすい内容を行なっている。 <p><u>成果と課題等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災の影響もあり参加者数が減少しているため、事業の内容を精査し参加者数の確保に努めていくと同時に、まちづくり協議会との協働も検討していく。 ・ 各地区での町民運動会が開催されなくなった為、公民館施設の早期復旧と、ニュースポーツ等を取り入れ若い世代から高齢者までが参加できる事業内容を検討し推進していく。 	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育振興会やまちづくり協議会等と時には共催、後援するなど連携を深めながら事業を推進するのもいいと思います。 ・ まちづくり協議会との連携を図り、町民の健康づくり、体力づくりに貢献する事業を展開してほしいと思います。 	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">佐藤記念体育館事業（社会体育）</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">（４）社会体育とスポーツの振興</p> <p style="text-align: center;">①町民総参加による生涯スポーツの振興</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種スポーツ教室・大会を開催し、生涯にわたって親しめるスポーツなどの普及を図る。 <p><u>実施状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民の方に各種スポーツ教室、大会を開催しスポーツの普及と親睦を図るため関係団体と連携を取りながら事業を行なっている。 ・ 事業内容 ピラティス教室、体力づくり教室、中高年スポーツ教室、ストレッチポール教室 <p><u>成果と課題等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各教室の参加者が毎回固定化してきておりまた、震災の影響もあり参加者数が減少しているため、事業の内容を精査し参加者数の確保に努めていくと同時に、まちづくり協議会との協働も検討していく。 ・ 体育館施設の早期復旧と、若い世代から高齢者までの方が誰でも参加していただき健康増進と地域の親睦を図っていく。 	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで参加したことのない方々に参加してもらうためには、その意義や楽しさなどを積極的に周知していく必要があると思われます。 ・ 体育振興会やまちづくり協議会等と時には共催、後援するなど連携を深めながら事業を推進するのもいいと思います。 ・ まちづくり協議会との連携を図り、町民の健康づくり、体力づくりに貢献する事業を展開してほしいと思います。 	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">吉田体育館事業 （社会体育）</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">（４）社会教育とスポーツの振興</p> <p style="text-align: center;">①町民総参加による生涯スポーツの振興</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種スポーツ教室・大会を開催し、生涯にわたって親しめるスポーツなどの普及を図る。 <p><u>実施状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災により住民数の減少と地域の復旧に伴い今後の事業の取組みとしてニュースポーツを取り入れ、誰でも参加でき地域住民相互の親睦融和と健康増進を図っている。 <p><u>成果と課題等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災後、住民数が減少しており誰でも楽しみながら参加でき、体力増進と健康維持及び地域の親睦を図るのに適したニュースポーツ等の普及を行っていく。 ・ 体育館施設の早期復旧と、若い世代から高齢者までの方が誰でも参加していただき健康増進と地域の親睦を図っていく。 	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで参加したことのない方々に参加してもらうためには、その意義や楽しさなどを積極的に周知していく必要があると思われます。 ・ 体育振興会やまちづくり協議会等と時には共催、後援するなど連携を深めながら事業を推進するのもいいと思います。 ・ まちづくり協議会との連携を図り、町民の健康づくり、体力づくりに貢献する事業を展開してほしいと思います。 	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">海洋センター事業 （社会体育）</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">（４）社会体育とスポーツの振興</p> <p style="text-align: center;">①町民総参加による生涯スポーツの振興</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民の方に海洋性スポーツの活動を実践することにより、海事思想の理解と普及を図る。 <p><u>実施状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋センター施設として体育館・プール・艇庫の３施設がありますが、東日本大震災の津波により、艇庫施設が壊滅状態となった為、しばらくの間運営が出来ません。運営できるのが体育館・プールとなっています。 ・ 体育館事業は従来通りの内容になっています。プール事業では小学生水泳教室の申請者が増えているため１年生～４年生まで各学年の教室を行っています。 ・ 艇庫が使えない状態のため、プールでのカヌー体験を行なっています。参加者数が伸びないのが現状です。 <p><u>成果と課題等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プールでのカヌー体験など工夫しながら事業を行いました。 ・ 事業内容により利用者の安全性などよりよい指導をしていく上で、職員の研修等も含め資質の向上が不可欠であり、職員がB&G財団で必要としている資格（指導員）を取得していく必要があります。 ・ 震災による施設の被害の復旧にあたっては、町の復興計画に沿った改修。整備を検討していきます。 	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「今後の課題」提示のとおりです。よろしく申し上げます。 ・ 利用率の向上を図る必要のあることを広く町民に周知し、協力をもらいたと思います。 	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">スポーツ顕彰式</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">(4) 社会体育とスポーツの振興</p> <p style="text-align: center;">②生涯スポーツ関係団体・指導者の育成と競技力の向上</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民の体育及びスポーツ振興を促進し競技力水準の向上を図り併せて町民意識の高揚に資するため、スポーツに関して顕著な成果をあげた者及び団体に顕彰する。 <p><u>実施状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内居住者の方及び学校・事務所に通勤している個人及び団体の方が対象です。 ・ わたり広報及び近隣の学校・県体育協会等に通知を依頼し各スポーツ面において功績のあった者及び優秀な成績をあげた者及び団体を毎年顕彰しています。 <p><u>成果と課題等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民意識の高揚と選手の競技力向上に資するためにも、スポーツ顕彰は継続して実施していきます。 ・ 従来から行われていた競技の他に、生涯スポーツと位置づけられているスポーツ種目の様々な大会が増えており、大会そのものが顕彰に該当すべきものか判断するのに難しい場合があり、今後も対象とする競技種目や大会について検討していきます。 ・ 推薦もしくは申請のあった大会の内容を調査するとともに、表彰基準を明確にするよう更に検討していきます。 	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大会が多様化する中で顕彰に該当するかどうか判断に迷うことが多いかと思いますが、緊張感をもってより一層の心配りをお願いいたします。 ・ 明確な表彰基準により顕彰し、町民のスポーツ振興に対する意識を高めてほしいと思います。 	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">海洋センター管理事業</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">(4) 社会スポーツの振興</p> <p style="text-align: center;">③スポーツ施設・設備等の充実と効率的活用の推進</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館、プール、艇庫の各施設において事業が円滑にできるよう施設整備を図り、利用者の利便性及び安全性に努める。 <p><u>実施状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋センター施設は現在、体育館・プールの2施設を管理運営しているが、設置から30年が経過し老朽化が進行している。体育館については震災後、照明の交換、トイレ修繕等、プールについては、鉄骨の腐食とシートの老朽化により茶色に変色し表面がもろくなり裂けてきている状態であり。管理運営していく上でも修繕が不可欠となっています。 ・ 今後、B&G財団から施設の整備補助を受けやすくするため、利用者の向上がなされるよう各事業を展開していきます。 <p style="margin-left: 40px;">※ 艇庫においては、東日本大震災の津波により壊滅状態の為しばらくの間休館。</p> <p><u>成果と課題等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置後30年が経過し、老朽化、腐食化等による交換、修繕箇所が多くなりますので、各施設の整備が必要になっています。 ・ B&G財団の補助を受けながら修繕等を行う必要があり、高い補助率を確保していくためには、B&G財団が定める評価規定の基準を満たすよう利用率の向上が図られるような事業を展開していきます。 ・ 震災による施設の被害の復旧にあたっては、町の復興計画に沿った改修。整備を検討していきます。 	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「成果と課題等」に提示のとおりです。よろしくお願いします。 ・ 利用率の向上を図る必要のあることを広く町民に周知し、協力をもらいたと思います。 	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">荒浜体育館管理事業</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">(4) 社会体育とスポーツの振興</p> <p style="text-align: center;">③スポーツ施設・整備等の充実と効率的活用の推進</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が安心して円滑に事業をできるよう施設整備を図り、利用者の利便性及び安全性に努める。 <p><u>実施状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成23年3月11日の東日本大震災の津波により、平成25年6月まで復旧工事を行い、平成25年7月から開館の予定。 <p style="padding-left: 40px;">{工事内容}</p> <p style="padding-left: 40px;">床全面張替え、木版壁災害部分の範囲張替え</p> <p style="padding-left: 40px;">玄関・トイレ・更衣室・事務室等被災部分修繕</p> <p style="padding-left: 40px;">電気関係修繕、備品購入等</p> <p><u>成果と課題等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災で地域の住民が減少している中、利用者の利便性を図りより利用しやすい施設を目標に管理して行く。 	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な管理をお願いします。 ・ 荒浜の住民の方々が戻ってこられることを見据え、改修に努め、利用しやすい施設にしていきたいと思えます。 	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">屋外体育施設整備事業（公認マラソンコース整備事業）</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">（４）社会体育とスポーツの振興</p> <p style="text-align: center;">③スポーツ施設・整備等の充実と効率的活用の推進</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 荒浜から磯浜を折り返すマラソンコースで、県内唯一の公認コースとして希少であることから、今後も継続してコースの整備を図る。 <p><u>実施状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成23年3月11日の東日本大震災の津波により、公認マラソンコースは被害に合い、現在は使用できない状態です。 ・ 公認期限が切れたため、更新はコースになる道路が復旧してから新たに申請する予定です。 <p><u>今後の課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在のコースは山元町にまで及ぶためコースの更新には山元町の協力が不可欠となっています。 ・ 亘理町内だけのコース設定については、道路使用について交通量等の問題点が多くあり宮城県警との協力が不可欠となっています。 ・ 震災の復旧・復興の進捗状態を見て、公認マラソンコース整備事業を検討していきます。 	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コースの設定には交通量等問題があり難しいと思いますが、町の名所旧跡を見ながら走れるコースも一つの選択肢として入れてもらえればうれしいです。 ・ 公認マラソンコースの整備は町のPRにもなるものであり、関係機関との調整を図り、積極的に事業を進めてほしいと思います。 	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p style="text-align: center;">社会体育事業（わたり復興マラソン大会）</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="text-align: center;">（４）社会体育とスポーツの振興</p> <p style="text-align: center;">④スポーツイベント・交流事業の推進</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>概 要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内外のマラソン愛好者が参加できる地域スポーツの振興と、参加者の健康増進及び町の活性化を図る。 <p><u>実施状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成２３年３月１１日の東日本大震災後、震災前のコースが津波により全壊したため１年間大会が出来ませんでした。 ・ 平成２４年は、荒浜中学校校庭を会場に本郷地区への１０Ｋｍ折り返しのコースで、大会名を「わたり復興マラソン大会」と変更して行いました。 <p style="padding-left: 40px;">参加者は、 １，２７３名でした。</p> <p><u>成果と課題等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わたり復興マラソン大会が、町内外から多くの参加者が集まり実施でき、亘理の元気な姿をとおして、復旧・復興が一步ずつ前へ進んでいることを発信することができた。わたりの貴重なPRの場としても、今後も事業を継続していきたい。 ・ 震災後、あらたに違うコース設定で大会を行ったわけですが、この場合警察との協議が大変難航しております。また、異なるコース設定で行う場合に参加者の駐車場確保も考えていく必要があります。 ・ その他にも事業をスムーズに行っていく上で、協力者の確保と会場設営がポイントになっています。 	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「わたり復興マラソン大会」が知れ渡ってきているようで嬉しく思います。関係者のご努力に感謝いたします。 ・ マラソン愛好者は多く、マラソン大会は町を元気づける人気の事業となっています。協力者の確保を図り、円滑に実施できるようにしてほしいと思います。 	